



### ～平成30年度第2回コア会議が開催されました～

平成30年9月13日（木）に「公園マネジメント会議・平成30年度第2回コア会議」が、地球市民交流センターにて開催され、22団体の出席があり、コア会議が成立しました。

「次年度以降のモリコロパーク春秋まつりについて（その2）」と題し、財源の確保が難しい今後の春秋まつりについて、第1回コア会議に引き続き、話し合われました。



### 次年度以降のモリコロパーク春秋まつりについて

〈討議〉第1回コア会議のふりかえり

- ・第1回コア会議での話し合いの内容を踏まえ、第2回コア会議の企画ミーティングにて**実現可能なたたき台**を作成しました。そのたたき台をもとに、意見交換が行われました。

### ●<モリコロ秋まつり：パートナーフェスティバルに寄り添う形で開催>について

モリコロ秋まつりは、地域市民交流センターのパートナー会員が行なっている「パートナーフェスティバル」に寄り添う形で開催する。

〈意見交換〉

- ・パートナーフェスティバル自体のボリュームも大きいので、寄り添う形をとるならば、**開催日数の調整**も必要ではないか。
- ・パートナー会員は地球市民交流センターの活性化が目的であり、マネジメント会員は愛・地球博記念公園の活性化が目的であり、方向性は同じである。マネジメント会員、パートナー会員の**両会員を上手く寄せて、より強化した形**で考えていきたい。
- ・パートナーフェスティバルにマネジメント会議が寄り添うのか、企画を広げて何か考えるのか、いろいろな関わり方が模索されると思うが、中心でやっている**パートナー会員を尊重**しないといけない。
- ・「寄り添う」というと聞こえはいいが、パートナー会員自身が、イベントの為に前日の準備から最後の片づけに至るまで、機材、資金等の調達も含め、かなり無理をして成り立っていることを理解していただきたい。
- ・「寄り添い型」はあくまでも案である。たとえば、パートナーフェスティバルが地球市民交流センターで展開するのであれば、マネジメント会議は、公園全体を見て秋まつりを考えるということも考えられる。



### ●<モリコロ春まつり：モリコロパーク全体の魅力発信>について

モリコロ春まつりは、モリコロパーク全体の魅力発信することとし、その日にしか体験できない、手に入らない何か、春にしか体験できないことなどをコンセプトにして開催する。

〈意見交換〉

- ・「春まつり」は春にしか体験できないようなことをコンセプトとして開催、「秋まつり」も秋でないとできないような企画を提案してはどうか。



### ●<春まつりコア会議（実行委員会）について

新型春まつりに注力するため、春まつりコア会議（春まつり実行委員会）を発足し、企画、人事（総務）、広報、資金調達のスペシャルチームとして活動する。

〈意見交換〉

- ・コア会議は、春のみではなく、秋も視野に入れてはどうか。「春」と「秋」は同時進行できるとよいので、チーム編成も春と秋に分かれてやる方がスムーズではないか。
- ・イベントに特化するのではなく、**自然・生物系の立場の人も参加**できるようにしてほしい。
- ・「春まつりコア会議」のメンバーは、必ずしも今のコア会議のメンバーではない。一般の関心のある人が参加する余地はある。

### ■全体共有

- ・新型春まつりの2020年本格実施に向け、2019年春まつりは、暫定型の持続可能（自立可能）な催しとして、一部**実証実験**的にやりたい。
- ・秋まつりについては、パートナー会員という相手のある話なので、慎重に進めていきたい。
- ・マネジメント会議の本来の仕事は、公園の活性化、市民参加型の実現などである。その一部に「春まつり」「秋まつり」があるのだが、それがすべてになっている現状を見直さなくてはいけない。その上で、**マネジメント会議がプロデュースするにふさわしい「春まつり」「秋まつり」のあり方**について、大胆な提案も含めリニューアルしたい。
- ・今後のコア会議の中で、マネジメント会議にとってふさわしい「秋の催し」「春の催し」のあり方について、**継続審議**とする。

### ■新分科会について（承認事項）

「さくらと緑を愛する分科会」より活動計画について説明があり、**新規分科会が承認**されました。



代表団体：日本さくらの会・愛知

#### 活動目的

- ①愛・地球博の基本理念、自然の叡智の継承実現
- ②愛・地球博記念公園内に植樹した桜の保全
- ③現存の桜並木の整備、新たな桜並木の創造（植樹）
- ④「春・さくら祭り」の実現、記念植樹
- ⑤「さくら市民講座」の開設

#### 立ち上げの想い

愛・地球博記念公園には桜が少ないため、公園内にもっと桜を植えていきたい。  
公益財団法人日本さくらの会より、30～300本の苗木の無償配布をうけ、植樹によりさくらと緑を保全する活動につなげていきたい。

### ■知ってましたか？〇〇

- ・「特定非営利活動法人コミュニティデザインながくて」より活動の紹介がありました。

#### 特定非営利活動法人コミュニティデザインながくて

事業概要：未来の社会のために、地域のヒト・モノ・コトをつなげる。そこから生まれる「新しい関係性」で一人ひとりが輝く場を創造する

事業紹介：放課後子ども教室に講師を派遣（つまみ細工、伝承玩具づくり等）体験型プログラムの提供（里山の自然を利用した遊び場、学び場づくり）

基本理念：**子どもたちの未来のために、**

一人ひとりが日々豊かに暮らす新しい関係性をつくる、まちづくりリーダーを支援すること  
一人ひとりが役割と居場所を見つけ出せる、様々な場を創造し、人と人との関係を紡ぐこと



### お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課（協働グループ） 担当：杉山 460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
TEL：052-954-6491 FAX：052-953-5329

公益財団法人愛知県都市整備協会愛・地球博記念公園管理事務所 担当：吉野 480-1342 長久手市茨ヶ畑乙 1533-1  
TEL：0561-64-1130 FAX：0561-61-2150

公園マネジメント会議 HP: [http://www.pref.aichi.jp/koen/AI\\_CHIKYU/ParkManagement/management/HP/](http://www.pref.aichi.jp/koen/AI_CHIKYU/ParkManagement/management/HP/)